

・真空プラズマ装置での処理時間依存性



真空プラズマ装置 YHS-G を使用
窒素プラズマを用いて表面処理

・真空プラズマ装置での処理時間依存性

プラズマの照射時間の長さによって表面状態のコントロールが可能

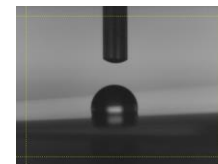
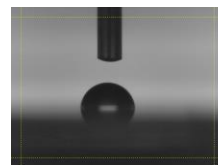
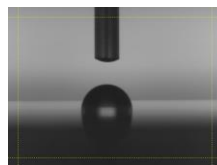
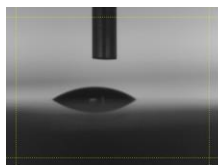
1. ガラス

2. ポリカ

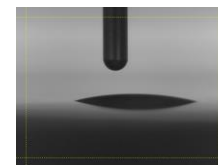
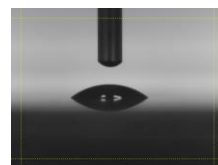
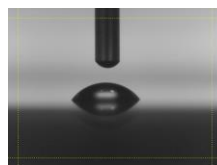
3. PET

4. ステンレス

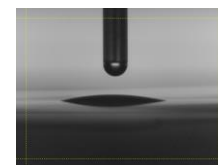
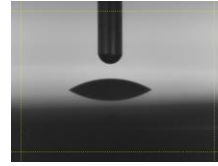
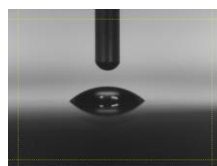
0s



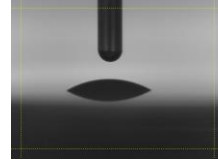
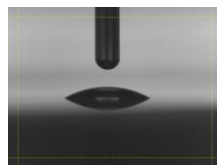
5s



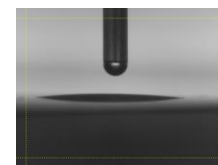
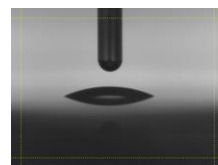
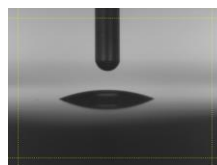
15s



60s



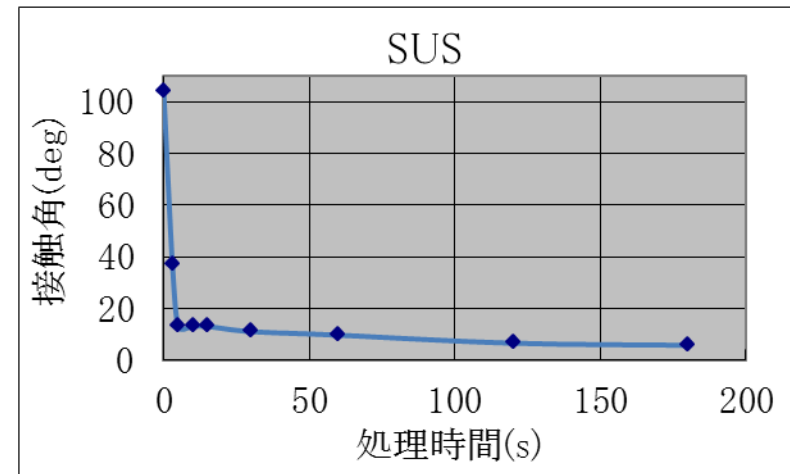
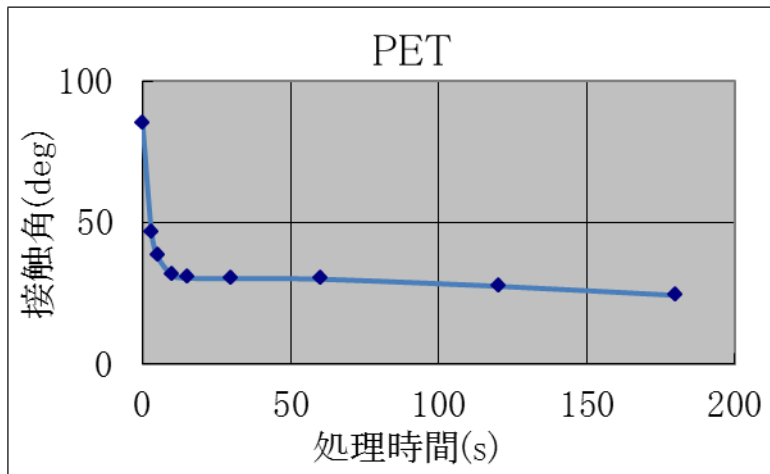
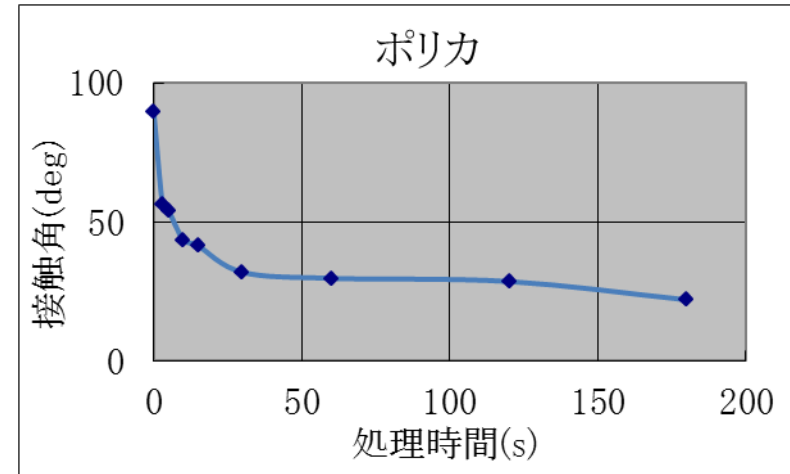
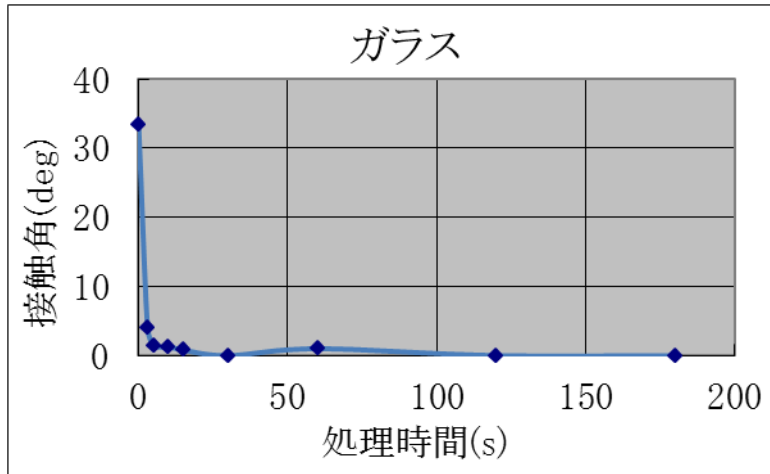
180s



各部材とも180秒が最も処理効果が高い

・真空プラズマ装置での処理時間依存性

各部材におけるプラズマ照射時間と接触角のグラフ



- ・各部材とも照射時間が長いほど処理効果が高い
- ・各部材とも照射時間が10秒～20秒で処理効果は飽和している